

学校紹介 新聞

筑西市立 明野五葉学園



◆校 長 入山克巳
◆児童生徒数 925人
◆創 立 2024年
◆住 所 筑西市倉持 1138

前期課程と後期課程が一緒に考え活動する総会(そうかい)「若葉いつつ会」



児童生徒主体の活動



支え合う、最高の学校に

学業会(生徒会本部)は、前期課程と後期課程が一緒になってより良い学校をつくるために頑張っています。昨年度のパネルディスカッションでは、校則について全校生徒で話し合い、靴下や靴の色について改定しました。本年度は「学校をより良くするためにできること」についてパネルディスカッションを行い、空き地を花壇に利用する案をまとめました。



志永陽、中島楓亜、古橋弥武(左から)

自分たちで考えて行動することは大変ですが、みんなで支え合い、全校児童生徒で協力して最高の学校をつくっていききたいと思います。(9年 志永陽、中島楓亜、古橋弥武)

こんな学校です!



「明野未来デザイン科」の授業。学校各地で活躍している生徒たち

9年間で未来を考える



古沢萌 稲村美優

今年4月から、筑西市内の五つの小学校と明野中学校が統合し、1年生から9年生までが通う明野五葉学園が始まりました。新しい学校の取り組みとして、地域の課題解決や地域の未来を本気で考える「明野未来デザイン科」という学校独自の授業があります。今、私たちは、「あけのひまわりフェスティバル」を盛り上げる

ために企画を考えています。「あけのひまわりフェスティバル」では、日本百名山である筑波山を背景に、約100万本のひまわりが咲き誇り、毎年多くの人を魅了しています。このひまわりの魅力をさらに知ってもらうために全員で企画を考えています。私のクラスでは来場者プレゼントの企画を考えていました。普段の授業科目とは違い、地域や未来のために本気で考えることに難しさもありますが、地域活性化のために頑張りたいです。(9年 古沢萌、稲村美優)



生きた英語

専科教員とALTによる1年生の外国語の活動

1年生から会話取り組む

本校では教育課程特例校として1年生から外国語活動を行っています。外国語の時間は、専科教員とALTがチーム・ティーチングで授業を進めています。子どもたちは、外国語の会話に積極的に取り組むなど、外国語に親しみをもつ様子が見られます。初めて英語の授業に取り組んでいる1年生に感想を聞きました。



廣瀬まりな、小林凛、熊倉慶(左から)

「家でも英語で会話をしています。授業で習った歌やチャンツを歌えました」(廣瀬まりな) 「英語であいさつできるようになりました。フォニックスの発音練習もがんばりました」(小林凛) 「好きな色を英語でたずねたり答えたりできて、うれしかったです」(熊倉慶)

みんな仲良し



前期課程(かてい)と後期課程の全員が楽しんだ「じゃんけん列車大会」

じゃんけん列車 一体感

「みんなで楽しめる行事を行いたい」。今年から義務教育学校になった明野五葉学園では、児童生徒約900人が学校生活を送っています。5～9年生が参加する総会「若葉いつつ会」での議論の末、「じゃんけん列車大会」が開かれました。当日は、6年生が1年生を誘導したり、上級生が中心となって下級生のサポートをしたりするなど、すばらしかったです。1年生から9年生と、年齢の幅は広いにもかかわらず、全員が楽しんでいました。最後に、学年やクラス関係なく一つの列車になったときは、とても盛り上がり、一体感が生まれました。今後も、このような交流の場を積極的に設けていきたいです。(8年 須藤あさひ、西村陸空、箱守采羽)



須藤あさひ、西村陸空、箱守采羽(左から)

次回は8月7日 銚田市立旭中学校です

いつでも
どこでも

茨城新聞ダブルプラン

茨城新聞 +電子版セット

新聞購読料+月額300円(税込)

合計月額4,100円(税込)

電子版なら手軽に茨城新聞を持ち出せます。紙の新聞も自宅で見たい。そんなあなたにぴったり。

電子版の特長

- 過去1カ月分の紙面ビューアー
- クリッピング機能
- 記事の検索もできる
- 高校野球速報や電子号外
- 「電子版コラム」「デジ缶」など独自のコンテンツ

※クリッピング機能とはお気に入りの記事を保存しておくサービスです。写真は保存出来ません(テキストのみ)。

<ダブルプランお申し込み時の注意事項>
 ■ご自宅で茨城新聞を販売店から定期購読している個人の読者様限定です。
 ■茨城新聞のご購読が確認でき次第、電子版のご利用ができます。県外の方は利用できません。
 ■お申し込みは購読者ご本人によるインターネットからの申し込みとさせていただきます。販売店からのお申し込みはできません。
 ■茨城新聞をご購読の販売店が新聞購読料と合わせて集金します。
 ■電子版の利用期間は月単位となります。月中でのお申込みの場合、その月は無料として利用できます。また、電子版の日割/精算は受け付けておりません。
 ■茨城新聞電子版はAndroid、またはiOS用のアプリになりますので、基本的にパソコンでご覧になることは出来ません。

ダブルプランのお申し込みはこちら

【問い合わせ】
茨城新聞社販売局
Tel.029(239)3030
平日9:30~17:00

